

現社でGO! NO34 国家主権と国際法 RANKC

国家の三要素

国家は、一定の（領域）・そこに属する人々（国民）によって組織され、領域と国民に対して最高の支配権（主権）を有する統治団体と定義される。2010

*宇宙空間に国家主権はない。

*南極条約 1959 によって、南極の領土主権は凍結されている。2010

満点の極意1 国際社会はどのような仕組みによって安全を維持するか！

この分野はそれほど難しくはない。でるところは決まっている。

① 国際法：条約 は国家間の合意を文書の形にしたもの（2国間の場合もあれば、多国間の場合もある）、国際慣習法は拘束力のある暗黙のルールと考えればいい。

② 国際裁判所：最も有名なのは、国連の主要機関の1つである 国際司法裁判所 と、2002年に発足した 国際刑事裁判所。ただし、両者の違いに注意。国際司法裁判所は国家間の紛争だけを扱うが（ということは、個人を裁くことはできない）、当事国の同意がなければ裁判を開始することができない。国際刑事裁判所は、戦争犯罪、人道に対する罪などに関して、個人を裁く。

③ 安全保障：歴史的にみると→ 勢力均衡方式（軍事同盟を結んで互いに攻撃できない状況をつくり出す）と、→ 集団安全保障方式（敵対する国家も参加する国際組織をつくり平和破壊国に対して集団的な制裁を加える）があることに注意。集団安全保障方式は→ 国際連盟 ではじめて採用され、→ 国際連合 にも継承されている。

満点の極意2 条約や憲法の引用はキーワードで判断できる

国際連合憲章 …「2度の世界大戦への反省」「集団安全保障」「紛争の平和的解決」といった内容が盛り込まれている部分が出題される。

世界人権宣言 …「人類の尊厳、自由・正義・平和」といった文句がある部分

日本国憲法前文 …「恒久平和主義を想起させる一節」が引用される。

センター過去問演習

【2010 本試】国家の領域・主権

国家の領域や主権に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国家は、「一定の領域」・「共通の言語」・「主権」をもっており、これは国家の三要素と呼ばれる。
- ② 月その他の天体を含む宇宙空間に対する領有権を国家が主張することは、条約上できない。
- ③ 現在では、いずれの国家の主権も及ばない地域は、地球上に存在していない。
- ④ 国際連合憲章は、領土をめぐる国家間の紛争については、国際司法裁判所に付託することを紛争当事国に義務づけている。

正解→②

【2002 本試 35】憲法・条約

憲法や条約などの規定の一部A～Dと出典ア～エの組合せとして正しいものを、以下の①～⑤のうちから一つ選べ。（なお、次の各文は、原則として条文に忠実に表記してあるが、一部表記を改めた所もある。）

A 「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義、及び平和の基礎である……。」

か

B 「国際紛争解決のため戦争に訴ふることを非とし、且つその相互関係において国家の政策の手段としての戦争を放棄することを、その各自の人民の名において厳粛に宣言す。」

C 「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、……恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚する……。」

D 「平和に対する脅威の防止及び除去と侵略行為その他の平和の破壊の鎮圧とのため有効な集団的措置をとること、……国際的の紛争又は事態の調整又は解決を平和的手段によつて且つ正義及び国際法の原則に従つて実現すること。」

ア 不戦条約 イ 国際連合憲章 ウ 日本国憲法 エ 世界人権宣言

① A—エ B—ア C—ウ D—イ

② A—ア B—ウ C—エ D—イ

③ A—エ B—イ C—ウ D—ア

④ A—イ B—ア C—エ D—ウ

⑤ A—イ B—ウ C—ア D—エ

正解→A-ウ、B-イ、C-ア

【2001 本試 12】国際社会の法

国際社会の法と秩序について述べたものとして **適当でないもの** を、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 国際法とは、諸国家の慣行を通じて成立した国際慣習法と、国家間の合意を文章化した条約とから成り、条約には日米安全保障条約のように二国間で結ばれるものと、国連憲章のように多数国間で結ばれるものがある。

② 第一次世界大戦後、国際連盟規約や不戦条約が結ばれ、戦争の違法化が試みられるようになり、第二次世界大戦後は国連憲章によって武力不行使の原則が定められた。

③ 国際法は主権国家の個別の利益を守ることを主たる目的としていたが、現代では国際社会の共通利益を確保することも目的とするようになり、地球環境問題や宇宙利用に関してもルールが作られている。

④ 国連が創設されてからは、国連の機関として国際司法裁判所が設置されているので、国連の加盟国間で紛争が起こったときは、紛争当事国の合意がなくても、国際司法裁判所による紛争の解決手続が開始される。

誤文→④紛争当事国の合意が必要